

がん原性指針関係検討対象物質（メタクリル酸2，3-エポキシプロピル）の作業環境測定方法の改正案

番号	物質名	作業環境測定の方法		管理濃度等	作業環境測定の方法の詳細【参考例】		
		試料採取方法	分析方法		定量下限	捕集法 (器具、流量、捕集時間)	分析法及び検出器
現行 39	メタクリル酸2，3- エポキシプロピル	球状活性炭捕集	GC/MS	0.01 ppm 日本産業衛生学会	A) 0.0069 ppm (採気量 2L) B) 0.001 ppm (採気量 28L)	球状活性炭管 (100 mg/50 mg) 0.2 L/min, A : 10分間/B : 140分間※	ジクロロメタン脱着 GC/MS
<p>※ メタクリル酸2，3-エポキシプロピルについては、開発済の作業環境測定方法の例では、評価指標（日本産業衛生学会が勧告する許容濃度0.01 ppm）の10分の1の精度で測定を行うためには140分間の捕集時間が必要となるため、より短時間の捕集で同等以上の精度での測定が可能な方法を検討することとしているところ、当該検討の結果により例を変更する可能性がある。</p>							
改正案 39	メタクリル酸2，3- エポキシプロピル	作業環境測定の方法		管理濃度等	作業環境測定の方法の詳細【参考例】		
		試料採取方法	分析方法		定量下限	捕集法 (器具、流量、捕集時間)	分析法及び検出器
		球状活性炭捕集	GC/MS	0.01 ppm 日本産業衛生学会	0.00067 ppm	球状活性炭管 (100 mg/50 mg) 0.2 L/min, 10分間	ジクロロメタン脱着 GC/MS

(参考) 2019 年度第 2 回化学物質による労働者の健康障害防止措置に係る検討会議事録抜粋

○中明委員 多分これ以外、メタクリル酸以外のものにも言えるのだろうと思うのだけれども、要する捕集法で140分間とるというのはいいんですかという、濃度を出すにはそれぐらい必要なのだろうけど、現場で140分間連続してとれるという、こういう状況があるのかというのはちょっと疑問なのですね。そうかといって、時間を短くしていいのかというのものもあるのだけど、こういうふうになんとかなく140分間やれよというようなことを言われると、測る方も躊躇するのじゃないかなという気がしないでもないのだけど、そこら辺何かいかがですか。

○阿部中央労働衛生専門官 一旦、今回はこういう形でお示しつつ、引き続きその精度を上げることの検討をさせていただくという形で対応させていただいた上で、追って更新させていただくような形はあり得るかなと思っております。

(中略)

○阿部中央労働衛生専門官 メタクリル酸2, 3-エポキシプロピルの作業環境測定方法に係る当座の通知での書きぶりについては、先ほど申し上げたとおり、すみませんが、一旦こういった形でお示しさせていただきつつ、追々捕集時間の短縮化を技術的に検討させていただくという形で対応させていただきたいと思います。